

小山市人口ビジョン

<p>《要旨》 国の長期ビジョン及び県の人口ビジョンを勘案し、小山市における人口の現状を分析し、今後目指すべき人口に関する将来の方向や展望を提示し、「地方創生」の取組を推進するための長期的な指針となる計画</p>	<p>《対象期間》 2060年（平成72年）までの45年間</p> <p>《構成》</p> <p>① 総論……………人口ビジョンの位置付けと目的／対象期間</p> <p>② 人口の現状……………人口の動向／将来人口の推計／人口減少による影響</p> <p>③ 人口の将来展望……………市民等の意識・希望／現状と課題／人口問題に取り組む基本的視点／目指すべき方向／人口の将来展望</p>
--	--

人口減少克服に向けた現状と課題

<p>《現状》</p> <p>① 増加してきた人口は、何も手を打たなければ2015年(平成27年)をピークに減少局面に移行すると推計(国立社会保障・人口問題研究所推計)</p> <p>➢ 2015年：165,834人→2060年：127,499人</p> <p>② 恵まれた立地条件・居住施策により、子育て世代等が集まり社会増が継続</p> <p>③ 大学進学・就業年代の若い世代の東京圏への人口流出の懸念</p> <p>④ 未婚・晩婚・晩産化の進行により出生数が減少、自然増が収束</p> <p>⑤ 人口減少による暮らしや産業等へのマイナス面の影響が増大</p>	<p>《課題》</p> <p>① 社会増の維持 【転入の促進】</p> <p>➢ 優位な立地利便性を生かした住宅地の整備、産業立地による雇用の創出、子育て環境の充実、小山の魅力の情報発信等による若者の呼び戻し、市外からの転入促進等の必要性</p> <p>【転出の抑制】</p> <p>➢ 若者を地元で定着させるための魅力ある就業環境整備・職場の魅力の情報発信、教育・子育て・居住環境の充実等の必要性</p> <p>② 自然減の抑制</p> <p>➢ 若者の意識や働き方・住み方、夫婦関係等、多角的視点からの出生数増加のための取組の検討・実施の必要性</p>
---	--



人口問題に取り組む基本的視点

- ① 産業・都市・教育・医療基盤の整備等による「人と企業を呼び込む施策」の推進
- ② 若者に魅力のある就業・雇用の場の確保
- ③ 若者・子育て世代の転入促進
- ④ 観光地化による交流人口増大
- ⑤ 安心して結婚・出産・子育てができる環境の充実
- ⑥ 生きがいをもって健康に暮らせる環境の整備

目指すべき将来の方向

- ① 優位な立地利便性を生かした産業・都市・教育・医療基盤の整備等による「人と企業を呼び込む施策」の推進による住みよいまち
- ② 水と緑と大地が育む地域資源を保全・活用し、観光・交流でにぎわうまち
- ③ 若者や女性、高齢者が希望を持っていきいきと暮らせるまち
- ④ 地域の絆を大切に、安全・安心で健康な潤いのあるまち
- ⑤ 周辺都市と連携する拠点となるまち

人口の将来展望

- ① 転出超過となっている若い世代(15~24 歳)の女性の転出を抑制
- ② 子育て世代(25~44 歳)の転入を促進
- ③ 合計特殊出生率を向上
⇒ 2030 年(平成 42 年) : 1.90、2040 年(平成 52 年) : 2.07 を達成

2060 年(平成 72 年)の人口 15.1 万人(150,841 人)を確保

国立社会保障・人口問題研究所の推計 : 127, 499 人(2060 年)

小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略

<p>《要旨》 人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持するため、小山市人口ビジョンで設定した人口の将来展望の実現に向け、まち・ひと・しごと創生に関する施策について、小山市の実情に応じて定める基本的な計画</p>	<p>《計画期間》 平成 27(2015)年度～平成 31(2019)年度の 5 年間</p> <p>《構成》 ① 総論……目的／総合戦略の位置づけ／計画期間／推進・検証体制 ② 基本理念 ③ 基本目標と基本的方向……基本目標／基本的方向／成果指標 ④ 具体的な施策……主な取組／具体的な事業／重要業績評価指標(KPI)など</p>
---	--

基本目標と基本的方向・成果指標・主な取組施策・重要業績評価指標(KPI)

【基本目標1】産業の振興による新たな雇用の創出

<p>《基本的方向》 人と企業を呼び込む施策の推進により、小山市の基幹産業である工業や農業・商業、観光等の振興等、新たな雇用の創出を推進するとともに、地場産業の育成・振興により、地域の活性化を図ります。</p>	<p>《成果指標》 ○ 企業誘致による新規雇用者数 H27 : 55 人 → H31 : 500 人 ○ 有効求人倍率 H27 : 1.16 → H31 : 1.50</p>
<p>《取組施策》 1.1 人と企業を呼び込み新たな雇用の創出 ➢ 新規工業団地の整備／企業誘致の促進／地元企業の育成・振興／若者や女性等の創業支援／地元採用・就労の拡大支援 1.2 地場産業の振興・情報発信 ➢ およまブランドの創生・発信／本場結城紬の復興・振興／農商工連携による産業の創出 1.3 農業の振興 ➢ 農畜産物の生産拡大／構造改革の加速化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備の促進／農地集積の促進／多様な担い手の育成・確保／6次産業化の推進／農業の多面的機能の維持・発揮／農畜産物の輸出／農業活性化のための情報支援</p>	<p>《重要業績評価指標(KPI)》 1.1 人と企業を呼び込み新たな雇用の創出 ➢ 企業誘致件数／雇用促進奨励金交付件数／海外販路拡大件数 1.2 地場産業の振興・情報発信 ➢ 農商工連携化取組事例数／およまブランド全国発信数／新ブランド商品数／道の駅思川ブランド品取扱数／本場結城紬年間生産反数 1.3 農業の振興 ➢ 農産物販売金額／農地集積率／新規就農者数／認定農業者数／集落営農の法人化件数／畜産クラスター事業件数／多面的機能支払交付金カバー率</p>

【基本目標2】新しい人の流れの創出

<p>《基本的方向》 小山市の優れた地域資源を活用し、観光地化を進め、交流人口の拡大に努めるとともに、転入希望者の視点に立ち、移住・定住の受け皿となる環境を整えます。</p>	<p>《成果指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光入込客数 H27：320万人→H31：500万人 ○ 若い世代の転入超過数（20歳～39歳の社会増加数） H27：390人 →H31：500人 ○ 新成人の定住意向の割合 H27：38%→H31：50%
<p>《取組施策》</p> <p>2.1 人と企業を呼び込む施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 産業基盤整備の促進／都市基盤の整備促進／教育基盤の整備促進／医療・健康・介護基盤の整備促進／子育て基盤の整備促進 <p>2.2 観光地化による交流人口の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 渡良瀬遊水地の観光地化／本場結城紬による観光まちづくりの推進／歴史・史跡等を活用した観光の振興／シティプロモーションの推進・強化／インバウンド等による観光誘客の推進 <p>2.3 移住・定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 移住・定住プロモーション事業／転入促進のための経済的支援／良好な宅地と床の供給／既存ストックの活用 	<p>《重要業績評価指標(KPI)》</p> <p>2.1 人と企業を呼び込む施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 工業団地への立地企業件数／マンション建設戸数／回復期リハビリ病床増加床数／介護保険施設（特別養護老人ホーム等）整備床数／待機児童数 <p>2.2 観光地化による交流人口の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 渡良瀬遊水地・周辺地区来訪者数／ふゆみずたんぼ米収穫量／ホンモロコ漁獲量／着物着用イベント参加者数／東京オリンピック・パラリンピック直前キャンプ誘致国数 <p>2.3 移住・定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 移住・定住人口／シティプロモーション・バスツアー参加者数／転入勤労者等住宅取得支援補助金交付件数／奨学金減免・給付対象者数／空き家バンク登録物件数

【基本目標3】結婚・出産・子育ての希望の実現

<p>《基本的方向》 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てに至るライフステージに応じた切れ目のない支援を通して、若者の希望を叶えます。</p>	<p>《成果指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て環境や支援に満足している人の割合 H27：21.5%→H31：30.0% ○ 合計特殊出生率 H27：1.47 →H31：1.61 ○ 市職員の管理監督職に占める女性の割合 H27：27.4%→H31：30.0%
<p>《取組施策》</p> <p>3.1 出会いから結婚までの支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 命の育みと尊さを学ぶ機会の充実／出会いの場の創出 <p>3.2 妊娠・出産・産後ケア支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 相談・サポート体制の強化／妊娠・出産の経済的支援 <p>3.3 子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 保育・子育て環境の充実／子育ての経済的支援／育児不安の解消支援／保健・医療体制の整備／特色ある学校教育・教育基盤の充実／子どもたちの学習・活動・交流の場の整備 <p>3.4 女性の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 女性の活躍推進／職場における仕事と家庭の両立支援 	<p>《重要業績評価指標(KPI)》</p> <p>3.1 出会いから結婚までの支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 婚活サポーター登録者数 <p>3.2 妊娠・出産・産後ケア支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 不妊・不育症治療費用助成件数／ハイリスク妊婦の支援割合 <p>3.3 子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 待機児童ゼロの達成／学童保育施設数／子育てひろばの利用者数／学習支援ボランティア登録者数／急病時にも困らず病院を受診できた人の割合／中学3年生の英検3級以上の能力のある生徒の割合／中学校英語教員の英検準1級以上確保／寄り添い教育サポーター全校複数配置／もう一人の先生（TT教員）全校配置／英語指導助手（ALT）の全小中学校配置 <p>3.4 女性の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市職員の男性育児休業取得率／ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定数

【基本目標4】持続可能な地域づくり

《基本的方向》

コンパクトシティの推進、良好な居住環境の創出、健康づくりの推進、医療環境の充実、地域コミュニティづくり、災害に強いまちづくり、定住自立圏の推進などにより、持続可能な地域づくりを進めます。

《成果指標》

- 住みやすいと感じる人の割合
H27：78.1%→H31：85.0%
- 小山地区定住自立圏の形成
H27：未形成→H31：形成済

《取組施策》

4.1 都市基盤の整備及び公共施設等の適正化

- 小山駅周辺部の定住化と中心市街地活性化の推進／新市民病院を核とする粟宮新都心整備、地区計画制度、地区まちづくりによる良好な居住環境の創出／コンパクト＋ネットワーク型都市の実現／公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進

4.2 健康づくりの推進・医療環境の充実

- 生涯を通じた健康づくりの推進／医療・介護・介護予防の充実／高齢者の就労・社会参加の促進

4.3 地域コミュニティづくり

- コミュニティ活動の推進／地域の防犯力強化／地区まちづくりの推進

4.4 災害に強いまちづくりの推進

- 安全・安心なまちづくり／地域における防災体制・防災活動拠点の強化／防災情報システムの充実／消防活動の強化

4.5 定住自立圏の取組推進

- 小山地区定住自立圏構想の推進

《重要業績評価指標(KPI)》

4.1 都市基盤の整備及び公共施設等の適正化

- 優良宅地整備面積／街なか居住推進区域への年間転入者数／地区計画策定数／周辺市町間道路整備延長／祇園城通りの空き店舗数／まちの駅来客者数／橋梁長寿命化修繕数／公園施設長寿命化対策数／市営住宅長寿命化修繕・改善数

4.2 健康づくりの推進・医療環境の充実

- 健康であるとの実感度／住民運営の通いの場の数／高齢者就業率／重症者救急搬送困難事例数／新小山市民病院紹介率／新小山市民病院逆紹介率

4.3 地域コミュニティづくり

- 自主防犯パトロール隊数／まちづくり研究会・推進団体数／自治会加入率

4.4 災害に強いまちづくりの推進

- 防災ステーション設置数／災害時応援協定締結数／安全安心情報メール登録者数／自主防災組織普及率／消防団員充足率

4.5 定住自立圏の取組推進

- 連携事業件数／連携道路整備延長